芭蕉布

本調子

1/2

六七工　尺工中　合　中尺上　合　老上四　工　合

四　老　乙　工　合　工　工　合　工五工　合　工尺

うみのあおさ

中　合　中　四　合　四上中　合　中尺上　合　工

そらのあお

合　乙　老　四　合　四　七　合　七　六　合　六

みなみのかぜ

五　合　五　七　工　尺　中　合　上　四　工　合

みどりばのに

四　工　老　乙　合　乙　中　合　尺　上　合　上

ばしょうはなさけ

尺　合　尺　尺　合　尺　合六五　工　合　工

てをまねくに

中　合　中　合　乙　老　四　工　合　四　合　六

とこなつのく

五　合　四　六七工　尺　中　合　中尺上　合　老上

わしたしまうちに

四　工　合　四　工　合

なー

芭蕉布

本調子

一、海の青さに空の青
南の風に緑葉〈みどりば〉の
芭蕉〈ばしょう〉は情〈なさけ〉に
手を招く
常夏〈とこなつ〉の国
我〈わ〉した島沖縄〈うちなー〉

二、首里〈しゅり〉の古城の石だたみ
昔を偲〈しの〉ぶかたほとり
実れる芭蕉　熟〈う〉れていた
緑葉の下　我した島沖縄

三、今は昔の首里天〈しゅいてぃん〉じ
やなし
唐〈とう〉ヲゥーつむぎ　はたを織
り
上納〈じょうのう〉ささげた　芭蕉
布〈ばしょうふ〉
浅地〈あさじ〉紺地〈くんじ〉の
我した島沖縄　沖縄